

# 松 籟

1966. 5

# 松 籟

(SHO—RAI)

1966年 5 月

第 1 号

堺浜寺ライオンズクラブ・会誌「松籟」

## も く じ

|                |            |
|----------------|------------|
| 松籟の発刊によせて…………… | 秋 山 良 三… 1 |
| 松籟の将来を……………    | 森 本 誉 愛… 2 |
| セクレタリーライフ…………… | 浅 原 茂 作… 3 |

### ★

|                 |               |
|-----------------|---------------|
| 回 顧……………        | 倉 橋 浅 治… 4    |
| 古 都 に 思 う……………  | 三 戸 文 男… 5    |
| 見たまま聞いたまま……………  | 里 村 隆… 6      |
| 癖ある馬に能あり……………   | 池 田 忠 光… 7    |
| 陶芸教室のおすすめ……………  | 平 野 忠 男… 8    |
| 私 の 誇……………      | 渭 東 薫… 8      |
| アイ・サーブ……………     | 宇 野 謙 一… 9    |
| L C 雑 感……………    | 大 槻 強… 10     |
| 羽衣学園LR会の紹介…………… | 向 野 志 津 雄… 10 |
| 思 う ま ま……………    | 岩 田 嘉 幸… 11   |
| 囲 碁 の 勉 強……………  | 玉 井 弘… 12     |
| 競 雑 感……………      | 橋 野 善 四 郎… 13 |
| 日本軍とライオン〇〇…………… | 平 野 督 太 郎… 14 |

### ★

|               |             |
|---------------|-------------|
| 小川さんを偲んで…………… | 鈴 木 啓 之… 15 |
| L小川を悼みて……………  | 古 森 皓 之… 15 |

### ★

|                        |    |
|------------------------|----|
| クラブ行事および各会合への出席状況…………… | 16 |
| 例会の奉仕資金・会員の動静……………     | 17 |
| 奉仕活動状況……………            | 18 |
| 出席率記録・年令調査……………        | 19 |
| 家族会のアルバム……………          | 20 |

### ★

|                |    |
|----------------|----|
| 役員・委員会構成表…………… | 21 |
| 会 員 名 簿……………   | 22 |
| 編集委員より……………    | 24 |

## 松籟発刊に寄せて

秋 山 良 三

302-W1 地区ガバナー

堺浜寺ライオンズクラブが機関誌松籟を発刊されますことは、クラブの進歩と発展に寄与することは勿論乍ら、会員諸兄の友愛と叡智の結集の新しい場が出来るわけで意義深いものと存じます。

ライオンズクラブが結成されますと、会員はもとより役員会・委員会はライオニズムの勉強に忙がしく、すべてが初めての事だけに、分かった様な分からぬうちに一年が過ぎて行きます。例会の運営だけでも並大抵でない。スポンサーの指導をうけて、研修と経験を重ねて行くわけです。又チャーターナイトの準備にも想像以上の時間と労苦がかかる。これが終わると、やれやれと云う気分が出てくる。悪く云うと「だるみ」が生じます。

併し乍ら国際協会に正式加入に依って、クラブには本格的な活動が要望されるのであります。

私は去る2月10日に貴クラブを公式訪問し例会にも出席させて頂きました。時期的には「やれ、やれ」の頃であり、私は幾分の危惧も無いではなかったのであります。併し乍ら会長を始めとし、役員会、委員長諸兄のライオニズムに寄せる熱意と誠実が反映して、クラブが活動性に溢れておられるのを拝見して、洵に嬉しく存じ、私の危惧は安心に変わったのであります。出席率は向上されており、奉仕事業にも、工夫と努力が大いにうかがわれ、クラブに一段と厚味が出来たことを強く印象づけられたのであります。御同慶に堪えません。この発展、充実の過程に於て「松籟」発刊も時期を得たものであり、かつての名勝地浜寺は姿こそ変ってはおりますが、数多い松林をめぐって伝わる松風の音が変わらない如く、浜寺ライオンズクラブが永久におくる新しい松籟即ちライオニズムが香り高く、広く、そしてやすみなく、こだますることを祈って、発刊の祝辞のむすびに致します。



40年2月10日の  
公式訪問

L 秋山ガバナー（中央）

## 「松籟」の将来

森 本 誉 愛  
会 長

堺浜寺ライオンズクラブの機関誌「松籟」がはじめて生れるについて、一言挨拶の意味で、拙文を綴ります。会には必ずしも会誌がなければならぬと云うことはない、ただあった方がよい、と私は考えています。昭和19年6月18日、堺仁徳ライオンズクラブのお世話で結成され、同年11月8日チャーターナイトをしたクラブにしては創刊があまりにおそいと思われる方々に対して申し訳めきますが、そうなった事情を述べてみましょう。

会報の発行そのものは、そう大してむずかしいものとは思いません。殊に私共のクラブには、広報及び会報委員会に、L字野と云う編集専門家がおり、今迄でも通知の形式で、会誌的なものを何度も流した事実があります。しかし会報として形式を持ち、定期に刊行するとなると、編集者が如何に優秀であっても、執筆者が貧乏しければどうにもならないものと思います。L字野位になると、マイクを持って各会員の話をきき、それを編集してでも会誌位はこしらえる自信はあるでしょう。しかしそれでは魂のないものになります。会誌と名づける以上は、執筆者は誠実と熱情とを持った内容を揃えなければなりません。それには1人や2人がいくらきばっていても役に立ちません。クラブと云うものはいくら努めてもファイトの消長の波があるものです。キャビネットの方々の変らぬご激励やご指導があっても、時にはねむっているクラブも出て来ます。又アクティブなクラブも出ないでしょう。

昨年11月27日新装の堺市民会館に1600名の恵まれぬ子達を集めて、羽衣学園合唱団、府警音楽隊の演奏、南海ホークス選手のサインボール贈呈、ディズニーの101匹のワンちゃん映画等、皆んな

で楽しいエンターテイメントを催してチャーターナイト1周年記念として以来、自然的にクラブ全体に盛り上がりムードが生じ、メンバーも35名から55名となり、メンバーの相互理解と親善が急にたかまって参りました。この期を逸せず会報に着手したいと計って会報実行委員会をつくり協議しました。先ず会報の名称についてアンケートをとり討議しました。浜寺の地は松にゆかりがあるのでバナー、バッジ等も松を使っています。まつのおと松籟と全員一致で決りました。只籟と云う字が当用漢字にないのでとの意見もありましたが、当用漢字そのものが時々変わるので、こだわる必要もないと云うことで松籟に決定しました。近く創刊号が出ますが尻切れトンボにならぬよう全員のご努力にまかたいと思っています。私事を書いて失礼とは存じますが、私は書けと云われると一夜ずけのきく性質ですからすぐかけます。しかしあとでよんでみると流れるような文章にはなっていません。素人のかなしさをつくづく味わいます。それに文に少しも魅力がありません。魅力のない文をよむ身になれば甚だ苦しいだけです。こんなことを味わって貰いたくないので、なるべく文はかかないことにしています。私自身にしては、自分はいつも誠実であり、正しいと信ずることをしているのですから結果がどうあろうと気にする必要はないのですが、人に嫌な感を与えてまで文を綴る罪は尠くしたいと思います。

最近私は怒らず、うらやましがらず、腹八分をモットーとして私の本業にはたえまぬ勉強と努力をしています。本業に忠実であることがライオンズムにかなうわけでもありません。しかしずいぶん人様の酷評も、ご本人の前でして来ました。唯正しく、ルールに副って誠実であればよいとの考え方だけでしたがエチケットに外れたことは多々ありました。会長の任期も3月あまりと考えますと、汗顔の至りです。もう少しインターナショナルな紳士にならなければいけないと思います。

## セクレタリー・ライフ

浅 原 茂 作  
幹 事

1964年6月18日に堺仁徳 L. C のホストで堺浜寺 L. C が誕生すると同時に幹事としての役目を命ぜられ以来、今日迄自分の能力精一杯御世話させて頂いております。結成当時ホスト C の吉井会長が「浅原君、出来る事なら幹事を御受け下さい。大変な仕事だけれど人間が出来ますよ」私はこの言葉に魅せられて御受けした訳で、勿論今日迄どうにか1人歩きの出来る様になれた、その影武者としてホスト C の岡田幹事を忘れる事は出来ません。そして頑健な精神力を持っておられる会長 L 森本、又先頃御他界になられた実直真意の人会計 L 小川とのより良きコンビネーションに依り運営の萬全はほぼ完遂出来得ているものと信じております。

この間昨年のロサンゼルス世界大会を始め、京都での東洋及び東南アジア大会を始めとしてあらゆるライオンの行事には進んで出席をして参りました。そして実に多くの先輩クラブ先輩ライオンと接し色々の雑問題について語り合い、私自身ライオンズスピリットなるエキスを吸収して来た訳であります。その一例として多くの B. C の例会に出席した私は常に出席率向上を叫ぶ出席委員のしわがれた喉に接して来た訳ですが、ライオンのメンバーとしてライオニズの先づ第一歩は出席と云う基本的な義務の遂行にあると思います。この出席の上にこそ立派な正しく美しい奉仕の花が咲き実が結ばれて行くものと考へます。

何時のガバナー諮問委員会でも又

ガバナー公式訪問に於いても出席率の問題が出ない事はありません。私自身も自分自身の出席率よりも他会員或いはクラブの出席の問題でいろいろな意味で悩んで参りました。そして 100%の出席率をあげた方又あげようと努力しておられる方、あるいはクラブに対して同志的敬意を感じて参りました。会員の職業年令、健康、境遇、が異なるにつれて、その出席の可能性も異って来る事は周知ですが、出席の問題は単にそれのみではないと考へます。私自身の経験でも例会の変更を忘れ、会員に P R を忘れたり、毎月のレポート発送、例会記録の整理等の期限を忘れたり又例会計画の原稿を作り忘れて例会に出席し地団駄を踏んだ夢を見て夢でよかったと喜んだ事も度々ありました。

一方に他事を持ち乍らどうにか果して来たセクレタリーライフと皆出席こそ私自身で得た貴重な経験であると密かにほくそ笑み、又過ぎた2年足らずを顧みて自身をわれ乍ら一種の変人だとさえ思い苦笑しております。

余すわずかな幹事生活に今一度精力を傾注し、クラブの発展と会員の皆様へのサービスに努力をしたいと強い熱意に燃えております。



故・会計 L 小川      幹事 L 浅原      会長 L 森本  
(40年7月18日母子家庭激励慰安大会にて)

## 回 顧

倉 橋 正 治

ライオンズクラブ結成の通知を受けて、堺商工会議所に集まったのは一昨年の5月、早や1年11ヶ月！

ライオンズの何であるかも知らず、親クラブ堺仁徳の方々から、色々とお話を聞かしてもらったが、耳新しい事ばかりで一向にピンと来ない。内容もはっきり判らない間に結成の委員となり、何時の間にかチャーターナイトの委員長になってしまった。他の役員と違って短い期間だから、一番楽な役だと思って引受けてしまった。今から考えると、実に無謀というか、「盲蛇に怯ず」というか、自分の無智が恥ずかしい。日が経つに従って其の役の重大さと、自分の力の足りなさがはっきりして来たが、今更どうにもならない。親クラブから色々と指導され、クラブ員から忠告を受けては、「済まん済まん」と謝りながら、「無事にチャーターナイトを済ましたい」引くにも引けない羽目に追い込まれた。

チャーターナイトを間近に控えて痛風で倒れるや、L岩田が1日に二度も往診して下さった事やチャーターナイト前夜クラブ全員が徹夜で作業して下さったあの情景は、誠に感激の極みである。クラブ全員の温かい協力と、無理と知りながら黙々とついて来て下さった寛容に依って、この大任を訳の判らない間に終了する事が出来た。途中で

蛇も居たであろうが、クラブ員は其の蛇を追いやって、この旨を曲りなりにも、この記念すべき大役を全うさせて下さったと思うと、深い深い感謝の念が今でも胸に込み上げて来る。改めて皆さんに厚く御礼を申し上げたい。

其の後も何の勉強もせずに日々を送って来たこの私が、又チャーターナイト一周年記念事業の委員長になってしまい、これも前同様皆さんの疵護と指導に依って盛大に終了することが出来た。今こうした事を思い浮かべて、クラブ員の皆さんの温かい協力で感謝すると共に、ライオンズの「友愛と寛容」の精神を、クラブ員は私に奉仕して下さったと思って済まなく思う。

この1年11ヶ月は私にとって遅分長い路であり、其れはイバラの道であったり、又楽しい道でもあった。良い経験と試練の場であったと感謝している。

この間に名会計L小川の急逝に会った事は何よりも残念だ。朗らかであった彼の居ない例会は、一沫の淋しさが漂って居る。誠に痛惜に堪ええない。末尾ながら、謹んでL小川の冥福を祈る。



左より L平井, L蔡, L三戸, L倉橋, L平岡, 前列左より, L浅原, L小川  
(39年11月8日 チャーターナイトの日)

## 古都に思う

三 戸 文 男

先日洛北に住む友人を訪ねた折、久しぶりに一乗寺の詩仙堂を参観した。天気は悪くなかったが肌寒い2月なので参観者もないと思って行ったが案外に多いのに驚いた。

石川丈山で名高いお寺で、さして広い庭ではないが、東山を借景した静寂な地で京都での私の好きな所の一つである。

出町の「たばこ」屋の離れに史学専攻の友人が下宿していたが、「たばこ」屋のおばさんの碁友だちが詩仙堂の和尚さんだったのでおばさんのお供でこのお寺に何度か行ったことがある。友人もおばさんも、又和尚さんも皆故人となったが、それも40年近い昔となった。

その当時はひっそりとして大声を上げなければ誰も出てくれなかった、今は手入れも掃除もゆきとどいて、案内人も沢山いる。今から思へば豊かでもなかったであろう、うら淋しいような寺であった。電車を下りて田んぼ道を歩いて行った思い出はなつかしい。

近年は観光ブームで、さびれかけた京都の古社寺もおかげさまで豊かで明るくなったが、ゆっくり観賞することもできなくなった。詩仙堂も例外でなく春秋の好季節には観光バスをつらねて参観者があとをたたないようだ。

その昔後水尾天皇の離宮で、借景庭園としては一代の傑作と云われる庭のある岩倉幡枝の里の円通寺で茶会等を催して楽しんだことがあったが、今は参観者が多くて、茶会を催すどころか、相手にもしてくれないと或る京都の友人が嘆いていた



(詩仙堂入口 淡交社刊より)

が、全く近年の観光ブームはすさまじいものである。

西山に観光専用道路が生れ、駅前に観光タワーが出現する時代で戦災をまぬがれた古都も、時の流れには抗することができないようである。

京都を訪ねる度に昔のなつかしい面影がすたれ行く淋しさが思われてならないが、これも私一人の感傷であろうか。

## 見たまま 聞いたまま

里 村 隆

生れた国の言葉と云うのは本当にありがたいものだが（外国に行くと痛切に感じます），又それを異国人が異国で話すのを聞くと何んとも妙な事になる事がある。

「パスポートOK!!」「ネクスト」「チシャショメシヨ」はて？困った!!こんな「ドイツ」語は今迄聞いた事も習った事もない。勿論日本語は通用しないし、私の「ドイツ」語も何んとか用を足せる程度。それに欧州大陸に第一歩を印した早々で、いささか堅くなっているから、余計わからなくなるし、僕の後方には、同じ飛行機で来た碧い目の連中がズラリと並んで待っていて、あせらざるを得ない。ふと台の向側を見ると年配の大きな「ドイツ」の入国検査官がニタニタ笑っている。そこで考へた。なぜ!!笑っている限りこれは別に不審な事ではないらしいと察すると、

漸く落付いて（こう書くと大変長い様ですが、時間になると2〜3分位か）「何んですか？もう一度……」と問い返そうとすると、彼、問答無用と見てか、いきなり私の「パスポート」入れから黄色い手帳を引張り出して、これだこれだと得意顔何んの事か、予防注射証明書ではないか、遠く離れた「ハンブルグ」空港でドイツ人に習い憶へた妙な日本語で困らされた一例。

一人旅の呑気さで、ぶらりと入った「ローマ」市内の「レストラン」、幸い数人の日本人と出会い、一面識もない人だが、そこは遠く離れた異国、親しく同じ「テーブル」で食事をし、さて終って「ボーイ」を呼んで勘定を命ずると流調な日本語で「日本人割勘ね」ときた。一同びっくり、大笑!!

日本人訪問の多い「ローマ」では一寸した「レストラン」「ホテル」の「ボーイ」等が妙な日本語を話すので嬉しい様な恥しい様な気分を味わわれる事が間々あり、戦時中の兵隊が教えた日本語と同じ上品ならざる言葉で、しゃべられるのには、いささか閉口、もう少し恥しくない言葉を教えておいて貰いたいものと感じ入った次第。

見たまま聞いたまま第一回終り。

チャーターナイト当日のライオネス



## 癖ある馬に能あり

池 田 忠 光

一癖ある者には必ず何にかのとりえがあると云う。人には無くても七癖とも云う。そうすれば人間誰にでも七つの能があると云うことになる。さて自分の七つの癖はと考へてみたが、自分の癖は自分ではわからない。癖と云う字は病だからお医者さんの診断を受けなければわからないだろうと云うことになる。

習慣と癖とについて考へてみたが物の本をみると、習慣とは或刺激とそれに対する反応との系列が、しばしば反復された結果、獲得された刺激と反応との自動的連合で反応は速やかに引出され且つ比較的に不変性をもつことを云うとしてある。何のことかわからない。次に或る行動や意識の形態が固定して、それがいつも同じ形で意識することなしに現われるようになったことを習慣と云う。少しわかった様な気がする。次に具体的に習慣とは自然の如し、習性は知らず知らずの間にうつり染まって遂にその天性のようになる。習慣とは天性なりとも云う。癖とはかたよった習慣とも云う。一応わかった様な気がする。

習慣には一般社会的な習慣と人間個人の習慣とがある。一般的な習慣についてみても色々とおあるが今日は人間個人の癖について考へてみることにした。人間の健康な状態とは一つに食欲のあること、二に熟眠の出来ること、三に毎日適当に排泄

のあることだそうだが、この三つのことには一人一人相当の習性があり、その人の癖がある。

朝起床すると煙草に先づ火をつけて朝刊を二つ三つもって便所に行く、そこで三十分も四十分も踞んで煙草をすいもって新聞をみる。便所の窓から煙がもうもうと出るので慌てたお手伝さんに火事と間違へ水をぶっかけられ、その上足が痺れて立てないで慌てた話を聞いたことがある。これも一つの癖であろう。又食事の時に箸で茶碗の縁をとんとんと叩いて食べる人がある。こうすると食慾が出る癖かもしれないが、家内中が皆んなで茶碗の縁をとんとんと叩いて食べたら賑やかなことだろう。睡眠の癖にも千差万別あるが、眠ってしまへばわからない。そのわからないのが熟眠かもしれない。

私の所へ来る友人に面白い癖の男がいる。私の家に来る曲り角の所まで来ると必ずそこで尿意をもようする。その場に来ると必ず立小便をしないと家に入れない癖の人がいる。これも変った七癖の一つであろう。

こお云う習慣とか癖を考へてみると色々面白い癖の人があるだろう。

そこで人は誰でも会合をもつが、ライオンズの月二回の例会もその一つである。この会合に欠席した時は気分が悪い、出席しない時は何か忘物をしたようで気持ちが落着かない。

メーカーキャップをしてでもゴングの音を月二回は必ず聞かないと自分のペースが出せない。こうした習慣をもしどなたもつけられるならば出席委員さんの御苦労もなくなると思う。当クラブの様に100%出席が習慣になり、それが当然のことではない。

## 陶芸教室のおすすめ

平 野 忠 男

土に親しみ土を使用する造型は、人類文化の出発点であり民族の伝統的指向であります。吾々の先祖は縄文弥生須恵器の昔より幾多の実用、器物祭器に優秀な作品を残して来ました。又古代朝鮮や中国の技術導入は、品格高き芸術品を焼成するに至ったことは専門家ならずとも一般に汎く知られているところであります。

最近の科学的発展は、陶芸の世界にも幾多の革命をもたらしましたが、尚且つ一碗の古陶に感嘆の声を発せずにはいられないのは、造型の世界のもつ神秘であると思います。吾々はよき指導者を得て土に親しみつつ白らの手で実用に供し得る器

物を又観賞に堪得る作品を製作したいとの念願を久しく持っていました。一昨年より京都美大学長近藤悠三先生のご後援と美大陶磁器研究室の諸先生並びに現在陶芸界にご活躍中の新進作家の方のご協力による「大阪陶芸教室」が発足をみるに至りましたことは望外の喜びであり、年来の希望が達成されることとなりました。

日曜の1日を初心の方も高度の技を求められる方も同好の士相集り講師先生を中心に「ひねり」による造型に習熟し、或は古今の陶談に耳を傾けて鑑賞の眼を高め、或は楽焼を楽しむ等趣味の向上と創造の喜びを満喫したいと考えています。

こんな考えで陶芸の道にはいりこんだ私は昨今花瓶や、茶碗を作り専念して居りますが、自負し得る作品の焼成はなかなか容易ではありません。今後皆様の広い視野にたつてのお教示を頂き、お互に勉強に励み度いと念願致して居る次第であります。

## 私 の 誇

渭 東 薫

私が約1年前に初めてLCの会員となったのは私の友人から奉仕団体として紹介され、大いに賛成して当クラブの結成に当って参加しました。然しLCの意義と在り方に就ては、本を読まされても、ただ漠然としたものでした。

今や1年LCの実際活動の片鱗を見て来た。そして想起すのは私が第2回目の召集を受けた部隊の事です。其の部隊は兵站守備隊としての装備だけの3000人程の部隊で、着いた所は赤道直下原始林の端の椰子林の続く海岸でした。其処で受けた命令は、前進基地の構築です。皆茫然としたものです。然し早速先づ材料には不自由のない原始林の木と藤蔓と椰子の葉で、ただ雨露を凌ぐだけの夫々の宿舎を組み、其処に起居して目的のための作業が始められました。人の踏んだこともない湿地の原始林の中で最悪条件下に誰一人不平を洩す者もなく、協力して目的達成への努力が続行されたのです。然かもLCの様に選良の集団では

なくて玉石混合、業種も多種多様、それに一業一人と云うわけでもなかった。然し皆この作業が前線に展開する部隊の命を左右するのだと云う誇と責任を感じて居たのです。そして和心と邪念も起り様がなく、敵機の爆音に肝を冷されては友愛と寛容は自然的な発露で、ただ一途に目的の達成に向って総和の団結を以て真剣な作業が進められて遂に所期の目的が立派に完成されたのです。

LCと部隊それは事情と目的を全く異にして居るとは云へ、何かの目的をはたすための個人の在り方は皆同じではないだろうか。あの時の部隊の一人一人はみんな立派なLionであったと思ひ出されます。そしてlionismとは“*We serve*”に徹するための条件であると考えます。

私は若い頃LCがリーダーの努力と全会員の協力に因て立派な成長と成果を挙げ、日本に堺浜寺LCありとシカゴ迄ひびかせた事に感激し、又全LCが全世界を結ぶ連鎖の一環として、片隅で小さな善意が熱意を以て絶へず実施されて居る事実を見た。此の世界的連鎖がより良い社会をもたらすために大きな寄与をなすであろうことを確信して、LCの一会員であり待ることに胸一杯の誇と責任を感じるものであります。

# アイ・サーブ

宇 野 謙 一

一人の善意が集って大きな善意となり、広い社会を楽しむ。アイの複数はいである、ライオン・サービス精神のウィ・サーブになるとは論理的にはわかっているが、なかなか実行は困難である。

ガラスが破れんばかりの満員電車が緑の薫風を切つてと言いたいが、スモッグの親戚の空気を切りながら屋根の上を走っている。車中は熱気湿気の異常高温で、吊り革にブラ下っている私の横の学生も額に汗をにじませて、こけまいと頑張っている。吊り革の手を離なせば座席の上ヘツンのめること間違いない。電車は時速 100キロで走っているようで、急行の名の通り吾が家へと運んでくれる。私は小さき善意を出して窓の上の方を開きにかかった。隣の学生も手伝ってくれた。苦心してようやく窓の上を開けた。座席の連中は迷惑な顔をし、いらぬ御せっかいな奴とばかりで上眼でにらんでござる。少しばかり遠慮しいい風が入って来るようになった。まだ電鉄会社は早いと思ってるのか、少しでも節約するつもりか扇風機が取り付けしていない。急行電車は快速で駅を通過した途端に窓から大量の風が突如として吹き込んだ。座席の女性の大切にセットした髪の毛がパット舞い立って、その女姓はあわてて髪の毛を抑えてかかった。いかにも困まるように開けた窓をジロジロと振りかえって、「誰が開けたの……？」とばかりジェスチャー。「誠に申し訳ない事をいたしました、小生の善意が貴女に悪意になったことはお許し下さい……」と言いたい処だが車中の大多数が暑くて困まっているんだから御し

んぼうを願いたい。小の虫を殺し、大の虫を生かせ。最大公約数的であれ、多数決だ……。等々の言い訳もあるが、貴女は 500円余のセット料を払ってようやく立派にして来た髪を、ヒョットすればデート前の大切な髪かも知れないが、一瞬の中に一人のおせっかい野郎の為に、ペアになったと考えると誠に御気の毒のいたりでございますと反省もする。

小さな善意もむづかしいことだ。

或るPTAで僅かな基金を作るために、お母さん方の協力で廃品回収もやったことがある。新聞紙・雑誌・空缶・金属切れ等が校庭の一隅に盛り上って、役員一同は大いに御満悦で、わがプランがいかに適切な成果を挙げたかをよろこんでいた。しかし、その後がいけません。しばらくすると風態の良くないオヂさんオバさんが現われて、吾々廃品回収業者の縄張り和生活権を荒すのかと強硬申入れ。なる程PTAで根こそぎ近隣の廃品を集めたので、ここ当分は廃品も出る見込みがなく、屑屋さんは失業するのは当然である。大方としては文句言われる筋ではないが、生活権ともなれば気の毒である。マアマアという事で集めた廃品を、その屑屋さん達に買って貰ってけりをつけたことがある。各家庭から屑屋さんの代行で集品作業をしたと思ってあきらめた次第である。

いやはや、こちらを立てればこちらが立たずの世間で、誠にまことにむづかしい事でござる。なけなしの智慧を絞ってアイ・サーブすれば叱かれ、小人は何をしても良いことなしであるが、生れ落ちてのおせっかい——良い意味では善意というそうである——がなおらない。人の喧嘩にも仲裁に入ったつもりで、何れかの方へ加担してしまつて一諸に喧嘩している。やっぱりアイ・サーブでは駄目で、皆さんの善意の結集の端末でついて行くのが私の行く道らしい。ウィサーブがやはりよらしい。文句が出ないように世間を知った立派なライオン達の頭脳にたよることに決心した。

## L. C. 雑感

大 槻 強

堺浜寺L. C. が誕生して1年半、ここにL. C. 誌を発刊する運びに相なったことはまことに慶ばしく存じます。その間、L森本会長・L浅原幹事はじめ全会員が協力して当クラブを育成されたことを感謝します。

さて、この記念すべき創刊誌に私ごとき浅学菲才が一文を寄せますのはおこがましく存じますがこんな拙文でもまかり通るのならば、われもわれもと会員諸賢の名論卓見が続いて誌面を飾り本誌を盛り上げるようになることを期待する呼び水として、あえて所感を述べるものです。

L. C. のアクティビティ（奉仕活動）はもとより私ども会員にとって一番大切な目的の一つであります。だからこそ、われわれクラブのできる限り多くの予算をとり、役員会および例会においてその適切な使途につき苦心しているのであります。このことは各ブラザークラブにおかれても同じであると存じます。したがって毎月の例会でこの予算額を明示し、いかなる奉仕をするのが適当かということをアンケートし、その結果を協議して使途をきめるのがよいと思います。

ところで、この「アクティビティ」するのに余りにも自分のクラブ名を誇示するきらいがあるよ

うに見かけることはどうかと存じます。奉仕が目的なれば、商品販売業者の広告に類する如き大きな文字を使って自己クラブの存在を現わすのは考えものであります。地方に旅行してよく大きな名前入りのアクティビティをみて、他人事ならず赤面することがあります。幸い当クラブではこの点を心掛けて小さく、慎ましくクラブ名をつけていることは嬉しく存じます。

もっとも、ライオンズクラブのいろいろの活動——ことにアクティビティは国際本部および各地区事務局へ報告する義務があるため、各クラブが競争心を煽られて、このような姿になるでしょうが、どうか全国のブラザークラブの皆様——このアクティビティはなるべく慎ましくかいたそうではありませんか。

つぎに当クラブに要望いたしたい。いま当クラブでは、名テールツイスターL岩田嘉幸の手腕によって、ユーモア裡にルール違反した会員に教育もし（外国の御手洗の名称迄も教える程）流石に博識には私も教えられるところ多く喜んでおりますが、このファインボックス（罰金箱）を会員に慶びを分つ意味で寄金するドネーション（寄附金）に併用していることは、同じくアクティビティ資金にくり入れるものであるにせよ、区別すべきが当然であると存じます。つまりファインは消極的寄金ですが、ドネーションは自発的・積極的性質をもつ寄金であります。したがって、ファインボックスとドネーションボックスの二つの箱を例会の席上に置いていただきたいと提言いたします。

## 羽衣学園LR会の御紹介

向 野 志 津 雄

昨年11月28日に羽衣学園に於て第一回の羽衣学園LR会の総会が催されまして約40名の方々が集まりました。このLR会なるものは羽衣学園に在籍して居る生徒の父兄でライオンズクラブ、ロータリークラブの会員の方々が主となって羽衣学園の発展をはかる協力団体として発足したものでありまして、現在の会員数は97名で内ライオンズの

メンバーは67名に達して居ります。

亦地域的には大阪市より和歌山市にわたって居ります。現在堺浜寺ライオンズクラブ関係では、L池田と私の二人が入って居りますが、今後皆様の御子達が羽衣学園に入学されますと自動的に、その父兄はこの会の会員になられるわけでありませう。本会は羽衣学園関係のライオンズクラブ、ロータリークラブの会員の親睦をはかると共に学園の運動部の海外派遣の場合など費用の援助も行いう等の協力することになって居り、年一回の総会があります。

発足して未だ日の浅い会なので皆様に簡単に御紹介させて頂いた次第です。

# 思　う　ま　ま

岩　田　嘉　幸

アメリカという国は、メイフラワー号に乗ってオランダから宗教の自由を求めて、やって来た、ピューリタンの理想が、社会の隅々迄、今もお生き続けている国である。だから「友愛」といい「寛容」といい、「忍耐」といい、彼れ等の思想的背景を除外しては考えられない、「ライオンズ・クラブ」の発生をみたのであろう。

開拓時代より、多くの民族の集合であるから、お互いに法律を作り、論議を尽して行ふ民主主義の政治形態が作られたのであり、婦人を助け、婦人を大事にする西欧の騎士道精神以上の女性尊重も生れたのであり、又困っている人、或いは弱者を助けるという精神が培はれたものであろう。

それに反して我が国は封建時代から近代文化を取り入れて僅々百年、極東の島国にあって、平和を楽しんで来たのであるが、敗戦後、厳しい現実には全く我を忘れた事もあったが、戦後二十年かくの如く立派に復興した。

然し昔は礼儀正しい、勤勉実直といわれた日本人も、近頃はドライな、そして義務を忘れた権利行使のみを追求するかに見える反面も出て来たし、民主主義のルールも時とすれば忘れ去られる事もある。故にライオンズムの理解にも仲々時日を要するし、これが実践には矢張り各人の問題として促えられなくてはなるまい。

当クラブ発足の時から、このクラブの進み方、あるべき姿を考え続けていた。当時一部ライオンズクラブは派手すぎる、或

いは金がいきりすぎる等のそしりを受けていた。然し、チャーターナイトにおいて他には珍しい質素にして、意義ある式典にしようとのアイデアを森本会長の英断の下、浅原幹事の努力、又L倉橋の名指揮の下、その他役員各位の協調と会員相互の密接な連繫の結果として、ゾーンのみならず、天下に堺浜寺の名を轟かせたあの事実は、一部批難に応えたものとして優秀な解答であり、又将来あるべき堺浜寺のクラブスピリットを打ち樹てたものとして誠に意義ある事であり、吾々の一生忘れ待ない感激であり、誇である。然も又チャーターナイト1周年を記念して行はれた記念アクティビティにしても、実に意義あるアクティビティとして賞讃に値するものである。

ここに発足より3年目を迎えたのであり、今後に対する希望を述べたい。

幸い、会員も50余名を数えた事ではあり、愈々クラブ内部の会員結束を図るべき時ではあるまいか。その為には会員相互の理解と親睦を密にし、苦楽を共にする、同志的結合になれる様お互い寛容と忍耐をもって、友愛の精神に満ち満ちたいものである。そして隣人に向って奉仕に力を致すべきであらう。私もティルツイスターとして微力を捧げているが、皆々様の叱正助言を期待したい。



チャーターナイト 当日の会場にて

## 囲碁の勉強

玉井 弘

60の手習いと云うのでないが私は最近になって碁を習い始めた。今更ら先生にでもなろうと云う野心があるわけでもないが、何時、誰とやっても黒石を持たねばならず全く碁にならないと云われる。何故だろうと聞いてみたら君は全々碁の原理公式が判っていないからだと云う。そこでその原理を習得しようと思つてのことである。

極めて簡単な様なその原理公式はやって見ればむづかしく仲々判らない。50を越しての習い事は道風以外の人には上達の見込みはないらしい。唯至極気楽な気持で遊んでいる内に意外なことを悟つた。

一面の小さな碁盤の上にも私達の長い世渡りの縮図に似たものがあり、30分か1時間で終る一勝負の内に世の中の様々の教訓が秘められている。

大体私の碁は局部的であり近視眼的であるらしい。一石を投ずるにも慎重に常に盤全体の均衡を観察し乍ら周囲の状勢を判断して、投じられなければならない。この簡単なこともやって見れば仲々出来ない。つい局部的に観察し全体の均衡と周囲の状態を忘れ勝ちとなる。これを判断して自分の地盤の勢力伸長に役立つ最も有効適切な手を打つことが碁の秘訣であるらしい。殊にヘボ碁に多いこと乍ら一石で時々全く予期しない状態に追込まれたり、偶然にも意図した以上の効果の挙る石を投ずることになる場合もある。

こんな有様は世渡りの中に出交す諸々の事態と非常に良く似ている。調子

に乗りすぎて失敗する場合、足許も固めず慾張りすぎて根低からくつがへったり、早く見限って他に活路を見出せば良いものを未練たらしく妙に意地つけている間に、どうにもならない状態に追込まれてしまう事もあるかと思へば、頑張つて粘り通せば活路を見出せるものを、早く諦めすぎて脆くも負けてしまう場合もある。意地張ったり、感情を交へても駄目である。

惟へば世渡りと全く同じ様な教訓がいくらでも出て来る。ほんとに碁は長い人生の小さな縮図の様なものである。

今日迄の50年に余る私の人生に於ても、碁を習得していなかった所為でもないかも知れないが、全く近視眼的に世の中を視たり、局部的な判断ばかりして大局を失ひ、まづい日日を送つて来た。遠い先の先まで見極め大局を把握して事の大小を正しく弁へて進むこの原理公式を30年も早く悟つていたとしたら、もっと豊かにこの世の中を暮せたかも知れなかった。

碁の原理公式を教わつた今日でも矢張り誰とやっても黒を持っている。理論を悟つただけで一向に強くならない私の碁の様に、残された今後の人生に於ても事現実に直面すると仲々思う様に心豊かな日日を送ることが出来ないのが矢張り凡夫の然らしむところなのだろうか。



ボーイスカウトに金一封を渡す玉井（昭和40年6月）

## 「躰」 雑 感

橋 野 善 四 郎

この頃は人作りと言う事がよく言われる。これを改まって聞けば何か耳新らしいものとして受取られる為か好んで使われる言葉でもあるが、なぜ事改まって使われなくてはならないものだろうか。その社会的の必要性を考へてみれば、戦後20年余の日本の物質的な繁栄は世界の注目となり、又近代科学の進歩も目覚しい躍進を遂げたのではあるが、全般の風潮として繁栄の基盤となるべき人間の道義的な自覚がこれに伴い得ないと言う悩みが先づ根本的なものとして考へ得られる。

確かに日本の義務教育の就学率は99%以上、又家庭に於ける学校教育の関心は教育ママと言う言葉が表現される位に高まって居り、この事は子供達の将来の生活に直接につながっている問題丈に特に真剣であり、そこには入学難の如き弊害はあるとしても国家発展の為には誠に喜ばしい次第である。

にも不拘、敢て人作りが叫ばれるに至ったのは知識に対する徳育の立遅れ、或は社会連帯感の意識の乏しさ等が、今日の経済生活の競争の激しさの為他を顧みる余裕のない人、心を更に自己中心的なものに駆り立てたが故にその必要性が要求されたのではないだろうか。

人作りは急に要求されても、少くとも戦後20年余の新らしい思想の導入による各層の混乱の結果これは今後徐々にしかその効果は期待出来ない。知育は学校組織の完備に伴い今後益々その伸びは期待出来るが、徳育は所謂躰として家庭内で、はぐくまれる事が多い丈に、この家庭と学校教育の結びつきは如何にあるべきだろうか。

徳育の一つとして日本には数々の歴史的な遺産が各地に多々ある。この遺産を残した先人の偉大さを現代の人々にもよく理解のつく様に、即ち歴史教育を盛にして、日本人としての自覚を高める方向にもって行く事も一つの方法ではないだろうか。然しここにも社会的な道德訓練の不足から、この文化財も共に楽しんで、充分に利用出来ぬ事もよく起き易い。

最近の週刊紙で、平泉中尊寺貫主として今東光氏が天竜寺派管長の関牧翁氏との対談記事を見たが、今度1億3千万円の経費をかけて、43年の5月に有名な金色堂の復興を計られて居る。これの完成の節には観光を兼ねた参詣客が多数訪れるだろうが『境内を汚すものがあれば、六尺棒を持って見張ってどなって拾わせる。それでも拾わねば帰してやらない。ひっぱたいてもよいと言う警察の許可をもらってやる』と言う。如何にも今東光氏張りの表現であるが、関氏にも『確かに観光シーズンでは春日野が葉子の紙で雪みたいに真白となり、これが学校遠足の時でも、先生方はなんとも言われぬし、又天龍寺へこられるのは有難いが帰ったあとはジュースの空き缶や紙の山であり何十年かかって作った苔寺の見事な庭も子供が乱暴するので、この頃は子供は入れなくなりました』と云うことも、これは一例であるが誠に嘆かわしいことである。こういう所にも人作りの必要性が出てくるのではないかと考へ込み乍ら読んだのであるが、文化国家にするという理想は先づこんな手近な処から始めて行くのが順序ではないだろうか。

家庭内で自然にはぐくまれた躰より、更に日本が伸びてゆくには国際的な感覚を身につけた文化人として成長してゆく為に、もう一步前進さすべき社会的な盛り上りのムードが各層から、もう起きてよい時期ではないだろうかと思われてならない。

## 日本軍と ライオン〇〇

平 野 督 太 郎

昔、軍隊に入って最初におどろかされることは「ビンタ」と云う制裁だ。私もその「ビンタ」を喰った一人だが、今その原因を思い出してみると地方言葉と云われる「私」とか「僕」とか云って軍隊用語の「自分」が出てこなかった為だ。

おかしいことに最近の若い人の会話を聞いていると、相手のことを「自分」といつている。「私」と「君」が混同している感じだ。

新しくライオンズクラブに入会すると、入会式のとき会長、幹事から「ライオンズクラブでは、〇〇さんとか、〇〇君と云わず、必ずライオン〇〇と云います」と教えられる。

ところが軍隊で「ビンタ」を喰う様なもので、それに慣れるまで或はライオン精神に徹する様に心掛けないと出てこない。古い会員でも例会などで隣同志話し合っているのを聞いていると、〇〇さんとか〇〇君と云っている。

軍隊には「ビンタ」と云う、まことに恐ろしい制裁があって強制されたので、それを2、3回経験すると「私」や「僕」が「自分」に、「さん」や「君」が「殿」に、きっちり統一される。

ライオン〇〇はそんなわけに行かない様だ、ライオンズクラブは良識ある紳士の集りだから各人の自己啓発に期待するわけだろう。

もっともファインと云う制裁

があるが、これとて目的は奉仕になるから喜ることである。

戦後、占領軍に強制された「右側通行」も何か同じ様な永い間の社会的慣習を別なものに統一しようとする不自然さを感じる。

ある忠実なるライオンが、街なかの人通りで同じクラブのライオンとばったり違い、「ライオン〇〇」と大声で呼び、動物園からライオンが逃げ出したのかと、通行人をびっくりさせたとか、この場合多少酒でも飲んでいて、ライオン言葉と地方言葉の使い分けが出来なかったのだろう。

名前のはじめにライオンの呼称をつけるのは、西欧流のミスターから由来するものだろう。ところが例会通知とか、その他のライオンズの公式文書の宛名書きはすべて「殿」又は「様」になっている。もっともライオン〇〇では宛名のライオンの近くにライオン堂とかライオン商店などがあつたら誤配されるおそれがある。

ライオン言葉でなく〇〇さんとか、〇〇君とかで話し合えたらと、ときに思うことがある。それともファインの心配なく、誰れに聞かれてもかまわない大きな声で。



尾崎西LCのチャーターナイトに参加のバス中のL  
右前が故L小川（昭和39年9月26日）

## 小川さんを偲んで

鈴 木 啓 之

ついこの間まで親しく話し合っていた、小川さんの訃報に接し、ただただ自分の耳を疑うばかりでした。香港旅行より帰って1月あまり、思いもかけない出来事なので、まだ信じる事が出来ません。いまにも電話で、「鈴木君、元気にやっているか」と語りかけられる小川さんの声が聞えそうな気がしてならない。

私が最初に故人と知り合ったのは、クラブに入会した時だから、39年の盛夏の頃だったろうか、会計をなさっているという事だけで、その誠実な人柄が伺えました。本当に親しくお付き合い願うようになったのは、つい最近の事で、まだ半年程にしかならないが、時々お会いしてお話を聞くのが楽しみでした。中小企業コンサルタントという有意義なお仕事をなさっている関係上、大変教えられる事が多く、兄に接するような甘えた気持で末永く御指導願いたいものだと思っていたものでした。私より10年も多い体験を通して、色々と社会に対する洞察の深さ、仕事に対する熱意、唯一人の心の友を失ってしまった現在、その淋しさは筆舌には尽し難いものがあります。

先日香港旅行では「二人で弥次喜多道中でもやるか」と大笑いされ、西も東も言葉も分らない

海外旅行を二人三脚で無事に終るよう語り合ったものでした。

香港への機上、戦時中航空兵だったとかで、大変飛行機の事に詳しく色々と説明して下さいました。

台湾の松山飛行場には、戦時中一度来られた事があるとかで、懐かしがって居られたが、その余りの変貌に、昔の面影がないと感慨深げだった。

旅行中、ホテルも同室に決まり、入室した途端部屋の中のあらゆるスイッチを押した結果、ボーイが飛んで来て不審な顔をするので、「何しに来たのかな」と二人で疑問に思ったが、ボーイが呼鈴だという事を手真似で教えたので「そうだったのか」と顔を見合せたものだが、第1日目からこれでは先が思いやられると二人で苦笑したものだった。

お土産を探しに出掛けても、まずお子様のものサーキット玩具が見当らなくて、洋服屋でチャイナドレスを二着買い求められたが、家庭での子ばんのうぶりが想像できて？、微笑えましかった。

又、九竜の難民部落や、台湾山でトロッコを押す女達を見られて、「世界のどこでもこういった人達がいるんだね。もっと皆んなが住み良くなるような社会を形成しなくては」と職業柄、彼等に心から同情を寄せられるといった優しい人でもありました。その反面、二人でチャイナ帽を買って被り「よく似合うよ」と茶目っ気も発揮された。

まだまだ語り尽せない滋味溢れる人柄の持主で本当に惜しい人を失くしたという気持で胸が一杯です。今はただ、故人の冥福を心よりお祈りして筆を置きます。

## L 小川を悼みて

古 森 皓 之

写し絵に香を手向けて合掌す

塔密数を連ねて捧ぐれど

朗らかに明るき性の君なりき

南無阿弥陀仏ライオン小川。

君は虚しく悲しき人かも。

黄泉路の旅も友多からむ。

## クラブ活動

### クラブ行事及び各会合への出席情况 (ガバナー諮問委員会, 記念会合, 各大会等)

|           |                       |                    |
|-----------|-----------------------|--------------------|
| 39年6月18日  | クラブ結成                 |                    |
| 39年8月21日  | 第1回ガバナー諮問委員会          | L森本, L浅原           |
| 8月21日     | 堺仁徳L.Cガバナー公式訪問        | L森本, L倉橋, L浅原      |
| 9月24日     | 尼崎西L.C. CN            | 全員参加 (L.S.含む)      |
| 9月9日      | 野村国際理事就任祝賀会           | L浅原                |
| 9月20日     | 東洋及び東南アジア大会           | L小川, L玉井, L蔡, L浅原  |
| 10月16日    | 岸和田L.C結成4周年CN2周年式典    | L森本, L松村           |
| 11月8日     | 認証状伝達式 (チャーターナイト)     |                    |
| 11月13日    | 第1回堺3L.C合同, 会長, 幹事会   | L森本, L浅原           |
| 11月13日    | 大阪生野L.C結成式            | L新居田, L浅原          |
| 11月16日    | 第2回ガバナー諮問委員会          | L森本, L浅原           |
| 12月22日    | 忘年家族会                 |                    |
| 40年2月5日   | デボース国際会長 302複合地区公式訪問  | L浅原                |
| 2月26日     | ロータリークラブ60年祭          | L小川                |
| 2月13日     | 第2回堺3L.C会長, 幹事会       | L森本, L浅原           |
| 3月13日     | 第3回ガバナー諮問委員会          | L森本, L浅原           |
| 3月20日     | 第11回地区年次大会            | L森本, L小川, L浅原      |
| 3月25日     | 三島大阪L.C結成             | L小川, L浅原           |
| 3月27. 28日 | 家族会                   |                    |
| 4月4日      | 泉佐野L.C結成3周年CN2周年式典    | L小川, L松村           |
| 4月11日     | 泉南L.C. CN1周年式典        | L森本, L浅原           |
| 5月9日      | 大阪生野L.C. CN           | 多数参加               |
| 6月5日      | 302 複合地区年次大会          | L新居田, L倉橋, L大本規    |
| 6月19日     | 第4回ガバナー諮問委員会          | L森本, L浅原           |
| 7月7日      | 第48回ロスアンゼルス世界大会       | L玉井, L浅原           |
| 7月17日     | ゾーン合同幹事会              | L浅原                |
| 7月20日     | キャンベル国際会長 302複合地区公式訪問 | L森本                |
| 8月21日     | 第1回ガバナー諮問委員会          | L新居田, L浅原          |
| 9月20日     | ホストクラブ堺仁徳L.C3周年式典     | L森本, L浅原           |
| 10月14日    | 岸和田L.C5周年式典           | L森本, L浅原           |
| 10月16日    | 堺青年会議所10周年式典          | 多数参加               |
| 11月6日     | 第2回ガバナー諮問委員会          | L森本, L浅原           |
| 11月18日    | 東洋及東南アジア大会            | L森本, L新居田          |
| 12月11日    | ライオンズスクール             | L小川, C鈴木           |
| 41年2月10日  | ガバナー公式訪問              | L大槻, L菱田, L神谷, L宇野 |
| 3月13日     | 島本L.C. CN             | L釜下                |
| 3月20日     | 京都柱L.C. CN            | L森本, 外11名          |
| 3月25日     | 泉大津L.C結成記念式典          | L河合, 外4名           |
| 3月27日     | 大和郡山L.C. CN           | L山崎, 外5名           |
| 3月27日     | 大阪堂島L.C. CN           | L倉橋, L平岡           |
| 4月2日      | 第12回地区年次大会            | L森本, L平野忠          |
| 4月9日      | 泉佐野L.C結成CN記念式典        | L森本, L浅原           |
| 4月10日     | 河内長野L.C. CN           | 全員参加 (LSを含む)       |

**結成以来毎例会の奉仕資金**（ファイン，ドネイション，お楽しみ抽選利益を含む）

|         |     |        |         |    |        |
|---------|-----|--------|---------|----|--------|
| 39年 6 月 | 1 回 | 6,300円 | 6 月     | 24 | 19,900 |
| 7 月     | 2   | 4,000  |         | 25 | 26,800 |
| 8 月     | 3   |        | 7 月     | 26 | 21,200 |
|         | 4   | 17,300 |         | 27 | 17,000 |
|         | 5   | 38,000 | 8 月     | 28 | 55,300 |
| 9 月     | 6   | 20,600 |         | 29 | 40,300 |
|         | 7   | 15,500 | 9 月     | 30 | 20,800 |
| 10月     | 8   | 20,600 |         | 31 | 48,800 |
|         | 9   | 17,200 | 10月     | 32 | 50,100 |
| 11月     | 10  | 27,800 |         | 33 | 48,050 |
|         | 11  | 18,400 | 11月     | 34 | 40,900 |
| 12月     | 12  | 11,700 |         | 35 | 45,100 |
|         | 13  | 22,300 | 12月     | 36 | 19,800 |
| 40年 1 月 | 14  | 29,300 |         | 37 | 43,500 |
|         | 15  | 39,105 | 41年 1 月 | 38 | 47,600 |
| 2 月     | 16  | 37,800 |         | 39 | 42,500 |
|         | 17  | 12,800 | 2 月     | 40 | 37,500 |
| 3 月     | 18  | 24,700 |         | 41 | 40,800 |
|         | 19  | 19,200 | 3 月     | 42 | 28,700 |
| 4 月     | 20  | 19,800 |         | 43 | 25,100 |
|         | 21  | 17,100 | 4 月     | 44 | 36,600 |
| 5 月     | 22  | 53,850 |         | 45 | 40,300 |
|         | 23  | 31,130 |         |    |        |

**会 員 の 移 動**

|         | 入 会 | 退 会 | 総会員数 |
|---------|-----|-----|------|
| 39年 6 月 |     |     | 35   |
| 7 月     |     | 1   | 34   |
| 10月     | 6   |     | 40   |
| 12月     |     | 3   | 37   |
| 40年 3 月 | 1   |     | 38   |
| 5 月     | 3   |     | 41   |
| 7 月     | 1   |     | 42   |
| 8 月     | 3   |     | 45   |
| 10月     | 5   |     | 50   |
| 11月     | 2   |     | 52   |
| 41年 1 月 |     | 1   | 51   |
| 2 月     | 2   |     | 53   |
| 3 月     | 5   |     | 58   |

## 奉 仕 活 動 状 況

|        |                                                                             |             |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 39年 6月 | 新潟地震災害奉仕                                                                    | 17,500円     |
| 11月    | 地区各警察, 全中・小学校, 青少年センターにキャビネット, 自転車,<br>テレビ, テープレコーダー, オルガン, 剣道着一式, 贈呈       | 642,894     |
| 40年 1月 | 堺南消防署に連絡用カブ号1台                                                              | 50,000      |
| 2月     | 高石警察署に交通道路標識設置看板費                                                           | 100,000     |
| "      | 北海道冷害救援奉仕                                                                   | 3,700       |
| 3月     | 高石町役場に新町名地番標示板                                                              | 110,000     |
| 4月     | 第11回W1地区年次大会記念AC巡回図書館                                                       | 19,000      |
| "      | 地区各中・小学校新入生記念植樹                                                             | 110,000     |
| 5月     | 街をきれいにする運動 ①地域内各鉄道ホーム学校集会所等にゴミ箱設置                                           | 62,500      |
| 6月     | 堺市施設児童夏季臨海学校に                                                               | 30,000      |
| "      | 街をきれいにする運動 ②地域内幼稚園, 役場, 公民館, 児童センターに                                        | 62,500      |
| "      | 大阪歯科大学救ライ奉仕団基金募集に                                                           | 11,000      |
| "      | 高石青少年センターに太鼓, 鏡                                                             | 62,900      |
| "      | 地域内ボーイスカウト, ガールスカウトに金一封                                                     | 150,000     |
| 6月     | 地域内の児童に交通安全黄旗を贈る運動                                                          | 90,000      |
| 7月     | 母子福祉法制定1周年記念堺大会に堺3L.C合同A.C                                                  | 50,000      |
| 8月     | 被保護家庭児童キャンプ招待                                                               | 40,000      |
| "      | 社会福祉法人聖明園の盲老人に                                                              | 2,000       |
| 9月     | 高石老人クラブ連合大会に                                                                | 30,000      |
| "      | 第9回国際ガン会議東京大会に                                                              | 10,000      |
| 10月    | 鳳地区新設児童遊園地に6連ブランコ1基                                                         | 60,000      |
| 11月    | 大阪府肢体不自由児協会に                                                                | 5,000       |
| "      | 堺市及び高石地区全域の恵まれない子供約1500人招待音楽会, サインボ<br>ール, 土産, ディズニー長編マンガ等の催「みんなで楽しむ子供の会」実行 | 561,370     |
| 12月    | 複合地区統一AC                                                                    | 5,200       |
| "      | W1地区合同AC                                                                    | 26,000      |
| "      | 高石老人各クラブ芝居券                                                                 | 36,800      |
| "      | 地区新地番標示板                                                                    | 93,500      |
| "      | 高石保育所, 堺深井保育所に消ゴム, ノート, 下敷, 鉛筆セット                                           | 30,000      |
| 41年 1月 | 堺南警察署に交通安全表示板堺3L.C合同A.C                                                     | 40,000      |
| 2月     | 堺市民病院屋上庭園設置に, 堺3L.C合同A.C                                                    | 60,000      |
| 3月     | 大阪肢体不自由児協会へ                                                                 | 10,000      |
| "      | 高石地区青少年野球聯盟にスコア・ボード                                                         | 38,000      |
| 4月     | 大阪肢体不自由児協会主催映画「駅馬車」チャリティシヨール協力金                                             | 15,000      |
| "      | 地区小・中学校11校に入学記念植樹(1校10,000)                                                 | 110,000     |
|        |                                                                             | 計 2,744,864 |

# 結成以来毎例会の出席率記録 (メーカーキャップなし)

|         |    |       |         |    |       |
|---------|----|-------|---------|----|-------|
| 39年 6 月 | 1  | 88.5% | 6 月     | 24 | 83 %  |
| 7 月     | 2  | 88.6% |         | 25 | 83 %  |
|         | 3  | 91 %  | 7 月     | 26 | 78.6% |
| 8 月     | 4  | 82 %  |         | 27 | 88.1% |
|         | 5  | 79 %  | 8 月     | 28 | 93.3% |
| 9 月     | 6  | 91 %  |         | 29 | 84.4% |
|         | 7  | 82 %  | 9 月     | 30 | 86.7% |
| 10月     | 8  | 73 %  |         | 31 | 86.6% |
|         | 9  | 75 %  | 10月     | 32 | 92 %  |
| 11月     | 10 | 88 %  |         | 33 | 88 %  |
|         | 11 | 78 %  | 11月     | 34 | 92 %  |
| 12月     | 10 | 65 %  |         | 35 | 92.3% |
|         | 13 | 73 %  | 12月     | 36 | 96.2% |
| 40年 1 月 | 14 | 75 %  |         | 37 | 87.6% |
|         | 15 | 75 %  | 41年 1 月 | 38 | 98.1% |
| 2 月     | 16 | 86 %  |         | 39 | 86.3% |
|         | 17 | 78 %  | 2 月     | 40 | 94.3% |
| 3 月     | 18 | 89 %  |         | 41 | 94.3% |
|         | 19 | 73 %  | 3 月     | 42 | 94.3% |
| 4 月     | 20 | 74 %  |         | 43 | 98.1% |
|         | 21 | 71 %  | 4 月     | 44 | 93.1% |
| 5 月     | 22 | 76 %  |         | 45 | 89.7% |
|         | 23 | 83 %  |         |    |       |

## 会 員 の 年 令 調 査 (2月10日現在)

|        |     |      |     |
|--------|-----|------|-----|
| 満60才以上 | 11名 | 明治生れ | 19名 |
| 満50才 " | 11名 | 大正生れ | 21名 |
| 満40才 " | 19名 | 昭和生れ | 3名  |
| 満40才以下 | 12名 |      |     |
|        |     | 計    | 53名 |
| 計      | 53名 |      |     |

|      |       |      |     |
|------|-------|------|-----|
| 平均年令 | 49.5才 | 最高年令 | 73才 |
|      |       | 最少年令 | 31才 |

## 家族会のアルバム



↑ 昭和40年3月28日      日本ライン下り



↑ 昭和40年10月10日      宇治平等院にて

# 役 員 表

|             | 1964～1965年度 | 1965～1966年度               |
|-------------|-------------|---------------------------|
| 会 長         | 森 本 譽 愛     | 森 本 譽 愛                   |
| 第 一 副 会 長   | 松 村 勇 治 郎   | 新 居 田 孝 正                 |
| 第 二 副 会 長   | 仁 木 清 七     | 倉 橋 正                     |
| 第 三 副 会 長   | 玉 井 弘       | 大 槻 茂                     |
| 幹 事         | 浅 原 茂 作     | 浅 原 茂 作                   |
| 副 幹 事       |             | 平 岡 正 清                   |
| 会 計         | 小 川 清 隆     | 小 宮 川 部 田 谷 川 岡 東 島 下 田 村 |
| 副 会 計       |             | 山 神 岩 長 平 渭 小 木 松 松       |
| ライオン テーマー   | 津 和 政 信     |                           |
| 副ライオン テーマー  |             |                           |
| テ ー ル ツイスター | 山 田 一 雄     |                           |
| 副テール ツイスター  |             |                           |
| 理 事 (一年)    | 里 村 隆 祐     |                           |
|             | 新 居 田 孝 嘉 正 |                           |
|             | 岩 倉 小 渭 木 平 |                           |
| 理 事 (二年)    |             |                           |
|             |             |                           |
| 会 計 監 査     |             | 釜 鈴 塩 下 木 路 正 啓 惣 純 之 吉   |

## 委 員 会 表

(1965～66)

※は委員長

|                |                                    |
|----------------|------------------------------------|
| 第 1 副 会 長      | 新居田                                |
| 出 席 委 員 会      | 菱 山※、 蔡 、 田 林、 中 辻                 |
| 財 務 委 員 会      | 塩 路※、 伊 庭、 宮 部                     |
| 会 員 委 員 会      | 津 和※、 松 田、 渭 東                     |
| 計 画 委 員 会      | 長谷川※、 小 島、 松 村、 平 井、 奥 中           |
| 会 則・附 則 委 員 会  | 山 根※、 小 木 下、 岸 、 橋 野               |
| 第 2 副 会 長      | 倉 橋                                |
| 視力保存聾人少年少女委員会  | 池 田※、 西 川、 中 山、 向 野                |
| 公民愛国国際連合委員会    | 山 崎※、 山 本、 西 本                     |
| 年次大会ライオンズ情報委員会 | 神 谷※、 福 丸、 鈴 木、 沢 田                |
| 第 3 副 会 長      | 大 槻                                |
| 広 報・会 報 委 員 会  | 里 村※、 宇 野、 古 森、 平 野(忠)             |
| 生活改善・地域改善児事委員会 | 玉 井※、 浅 井、 山 内、 平 野(督)             |
| 厚 生 委 員 会      | 釜 下※、 三 戸、 河 合、 塩 津、 川 口、 藤 井、 梶 岡 |
| 教 育 委 員 会      | 仁 木※、 平 岡、 永 田、 義 田、 住 吉           |



チャーターナイト1周年記念式典

於堺市民ホール

昭和40年11月27日

#### 編集委員より

昨年12月にクラブ会誌の企画してより半年、ようやく出来上ることになった。

本誌の構想と企画は会報委員会を主体として準備にとりかかった。原稿を2月中に会員各位に御願ひしたが、最終4月第2例会までかかった。本文と別に表紙は浜寺の松林の風景をとの編集委員会からの注文によってL宇野が写しに歩いた。そのスライドを委員会で選定して表紙写真を決定した。題字は書家であるL釜下に依頼して各種の書態で頂いたのを委員会で選んだ。表紙写真を基本にL平野（忠）が表紙カラー印刷を引受けて大変な御迷惑と御努力をかけてしまって出来上った。その表紙へクラブ名と年月をL大槻の手で本金の箔で字を入れて頂くという手間な仕事を引受けて貰って、ようやく表紙が5月初旬に出来上った。

本文は原稿がようやく4月末に集まって以来、印刷組版に著手したが色々と手数がかかって初校正が5月19日に出て来た為に、5月第2例会に間に逢はなかったのは編集者として申し訳ないと御わびします。

第2号からは会報の形態ができたので1ヶ月もあれば出し得ることと思います。

寄稿に努力された会員ライオンに御礼を申し上げると同時に、気楽に漫談・職業上の話でもライオンにこだわらず御寄稿願いたい。

#### “松籟”の題号について

昨年12月より色々会員ライオンより案がよせられ、松風・松林・松蔭等の当クラブのシンボル松に関した種々がよくよせられたが、委員会で色々相談して当用漢字にはないが“松籟”と決めた。

松籟の意味は、浜風が松林を吹き通る際に松の梢を動かし、何処ともなく松の鳴る音を意味する。或る人にはザワザワと聞え、また或る人にはヒューヒューと聞え、うるさくもまた風流にも聞き得るのが松籟である。

本誌も松籟のように風雅でありまた時には警鐘でもありたいと願っている。



複合地区スローガン

明るい 住よい 街づくり

W-1 地区スローガン

小さな善意 広く大きく

---

## 堺浜寺ライオンズクラブ

事務所・例会場： 大阪府泉北郡高石町羽衣 4 丁目13番19号 羽衣荘内  
電話 堺 (0722) 6-2001

例会日： 第2・4の木曜日 午後7時

結成年月： 1964年6月18日

日本での結成番号： 801

チャーターナイト： 1964年11月8日

---



堺 浜寺ライオンズ クラブ